

# 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2019年 8月 26日作成 第1版

<b>研究課題名</b>	10代の児童精神科初診患者における性別違和に関する初診時横断研究
<b>研究の対象</b>	2018年6月1日から2019年5月31日の期間に横浜市立大学附属病院及び、横浜市立大学附属市民総合医療センター（以下、2病院）を初めて受診した当時10～18歳の初診患者さんを対象とします。
<b>研究目的 ・方法</b>	現在、10代の性別違和について明らかになっていないことが多い状況です。今回、児童精神科を受診する10代の患者さんを対象に、性別違和を有する子における抑うつなどの精神症状の有無を調査し、合併する精神症状に合わせた治療方法を開発する助けとなることを目的とします。 2病院の初診患者の初診時診療録および新患データベースを用いて横断研究を行います。性別違和とその他の精神病理に関する質問を含む初診時間診票（自己記入式症状チェックリスト）の回答内容をもとに後方視的調査を行います。
<b>研究期間</b>	西暦 2019年 12月 16日～ 西暦 2021年 3月 31日
<b>研究に用いる 試料・情報の 種類</b>	診療録情報から以下の情報を収集します 性別違和の有無、その他精神病理（受診希望、家族に言えない秘密、中等度以上の抑うつ、中等度以上の不安、過呼吸発作、自傷行為、自殺計画、自殺企図、物質乱用、幻聴体験、幻視体験、対人不信感、粗暴行為、記憶に残る不快な体験、不快な体験の侵襲的回想、離人症状の有無）。なお、抑うつおよび不安の評価はPHQ-9（カットオフ値14点）とGAD-7（カットオフ値11点）を用います。
<b>外部への 試料・情報の 提供</b>	研究代表機関である横浜市立大学附属病院に対して、上記のデータにパスワードをかけて、電子データとして提供をします。氏名や生年月日、カルテID等、個人を特定できる情報は収集しません。集積したデータは、入室が制限された横浜市立大学附属病院児童精神科外来で、インターネットに接続できないパソコンで管理します。
<b>外部からの 試料・情報の 取得と保管</b>	該当なし

# 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	研究代表機関:横浜市立大学附属病院 児童精神科 藤田純一 共同研究機関:横浜市立大学附属市民総合医療センター 精神医療センター 高橋雄一
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 児童精神科 （研究責任者）高橋 雄一 電話番号：045-261-5656（代表）</p> <p>研究代表者： 横浜市立大学附属病院 児童精神科 藤田 純一</p>	